

川と親しむ観察会の実施および 観察会適地選定のための調査の実施

庄内の川を観察する親子の会
代表 村上 龍男

はじめに

庄内平野は、月山や、鳥海山の雪解け水の恵みを受け、稲作が盛んであるが、その水を供給する「川」との関係は近年、急速に薄れてきた。

川との関係が疎遠になった原因としては、護岸等により、川と人との距離が遠くなってしまったこともあるが、それだけではなく、生活様式の変容から、川における生活活動が無くなってしまい、単なる排水路としての存在になってしまったことも、大きな原因と考えられる。

本会は、子供を対象に、「川で遊ぶ」という実体験をとおして、薄れつつある水とのふれあいを回復するため、親子で取り組もうと結成されたものである。

事業内容

子供たちに、「水」について、深く理解できるような事業を実施することを目標として、「川で遊ぶ」機会を提供し、また、周辺の川のどこで、遊ぶことができるかをどのように調べたら良いのかが明らかになるよう留意しながらフィールドの選定調査を実施することとした。

事業展開の地である羽黒町の教育委員会、公民館、地元小学校児童の保護者の協力を得て、本会と共同で、「川で遊ぼう実行委員会」を結成、平成7年度の活動を行った。

活動の内容は次のとおり。

(1) 観察会（自然体験95 川で遊ぼう）

川で遊ぶことによって、川と人との関係を回復するための観察会を企画開催すること。この際、極力親子での参加、地域の方々の協力を得ることができるよう留意した。

(2) 観察会フィールド選定調査

平成7年度は、地域の方々からの聴取により、観察会観察場所を選定し、事業を行うこととしたが、今後、多様な形式の観察会を行うため、フィールド選定のための調査を実施することとした。

なお、他の水系で同様の観察会を開催するために、どのような点に着目し、フィールドの選定を行ったらよいか、今後の活動に役立てるため、モデル的な選定調査となるよう留意した。

活動報告

1 観察会等

今年度のテーマに沿って、「川で遊ぶ」計画を立て、次の日程で実施した。実施にあたっては、羽黒町の小学校の児童及びその保護者を対象に参加者を募集し、2回シリーズで実施することとした。事業の概要、参加者及び参加者の感想等は別添資料のとおり。

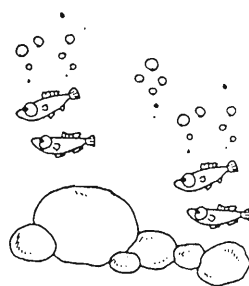
●平成7年7月29日

ふだん訪れることの少ない上流域での、河川環境の現状を実際に見、次回観察会実施予定地の中流域とどのような違いがあるかを、体験できるよう留意しながら、水生昆虫の生育場所や、周辺の植生等の観察を行った。また、資源維持の実践として、ヤマメの稚魚を購入、自分達の手で放流を行った。川に自分たちの放流したヤマメがいることで、郷土の川に対する感心を強めることに寄与するものと考えられる。

最後に、羽黒町建設課の協力を得て下水処理場の見学も行い、流入する汚水と、処理された汚水の透明度等の比較を行い、処理施設の重要性、水の循環等についての理解を深めることができた。

稚魚の放流 [7/29 (土)]

- | | |
|-------|--|
| 8:30 | 集合 (町民会館) |
| 8:45 | 出発 |
| 9:00 | 全員集合 (四小地区公民館)
砂防ダムへ (爪田川)
開会式
砂防ダムについてのお話
自然度調査、自然観察
今野川へ (向山橋下流)
川についてのお話
稚魚の放流 |
| 11:00 | 下水処理場へ (上野新田)
下水処理場のしくみ
透視度検査
閉会式 |
| 11:45 | 解散 (町民会館) |



●平成7年8月8日

今回の活動の中心である観察会（川で遊ぼう）を実施。実際に水の中に入り、箱目がねや、網といった、昔から使われている道具を用い、魚や水生昆虫等を捕獲した。なお、むやみに殺したり、捕獲をしないよう配慮しながら、川で遊ぶ楽しさを十分体験できるよう努めた。

また、簡易水質検査薬を用いたり、水生昆虫の種類を同定することにより、郷土の河川の現状を知る体験をした。科学的に川の環境を知る活動も行い、現在の環境科学の一端に触れることにより、今後の環境保護思想のかん養に役立つものと考えられる。参加者の感想の中には、又参加したいというものが多く見ることができ、川とのふれあいの機会を作ったという点で、当初の目的は達成できたものと考えられる。しかしながら、今回一部に取り入れた、科学的な環境計測の体験については、ほとんど感想に書かれていない。これは、参加者が低学年が中心であったためと考えられる。今後は、例えば高学年と低学年を分離して実施する観察会も行う等、対象層を明確にすることにより、遊びと科学的体験のバランスを調整し、より効果的な観察会を実施する必要がある。

しかしながら、低学年から高学年まで同時に参加する観察会も、高学年の児童が低学年の児童を助けるという場面も見ることができ、対象層の広い観察会も、本会の目標を効果的に達成するためには、欠くことのできないものである。

なお、感想には書かれていないが、中学生になってもこの観察会に参加し、運営の補助をしたいという児童がいたことも、観察会の成果の1つであると言える。

川で遊ぼう（かじかしめ）[8/8（火）]



8:30	集合（町民会館）
8:45	出発
9:00	全員集合（今野川向山橋下流）
	開会式
	川での遊び方についてのお話
	川遊び開始
	水質調査
	川の生物についてのお話
	生物観察
12:00	川遊び終了
	昼食
12:45	捕まえた魚や生物の勉強会
	魚のつかみどり
	閉会式
14:15	解散（町民会館）

2 河川環境調査

今回観察会の実施場所の他、羽黒町内で、川に親しむ場所について、その可能性のある場所を探すため、観察会適地の条件を検討しながら、現地調査を行った。

調査の詳細は別添報告書によるが、自然環境が、ある程度保たれている場合でも、アクセスが悪い、河川敷が狭い等の理由で、自然環境とふれあうために適した場所のごく少ないという結果となった。

ただし、河川の場合、上流から下流にかけて、環境は違うことが当然であり、また、人為の多くかけられた河川であっても、あるがままの自然を体験することは決して、無意味とは言えない。このことから、目的の狙いによっては、安全性さえ確保できれば、あらゆるところがフィールド適地となると考えられる。

なお、羽黒町においては、今回の観察会実施場所は、非常に適した場所であり、今後の利用環境の保持、自然環境の復元等に努力してゆく必要性がある。

終わりに

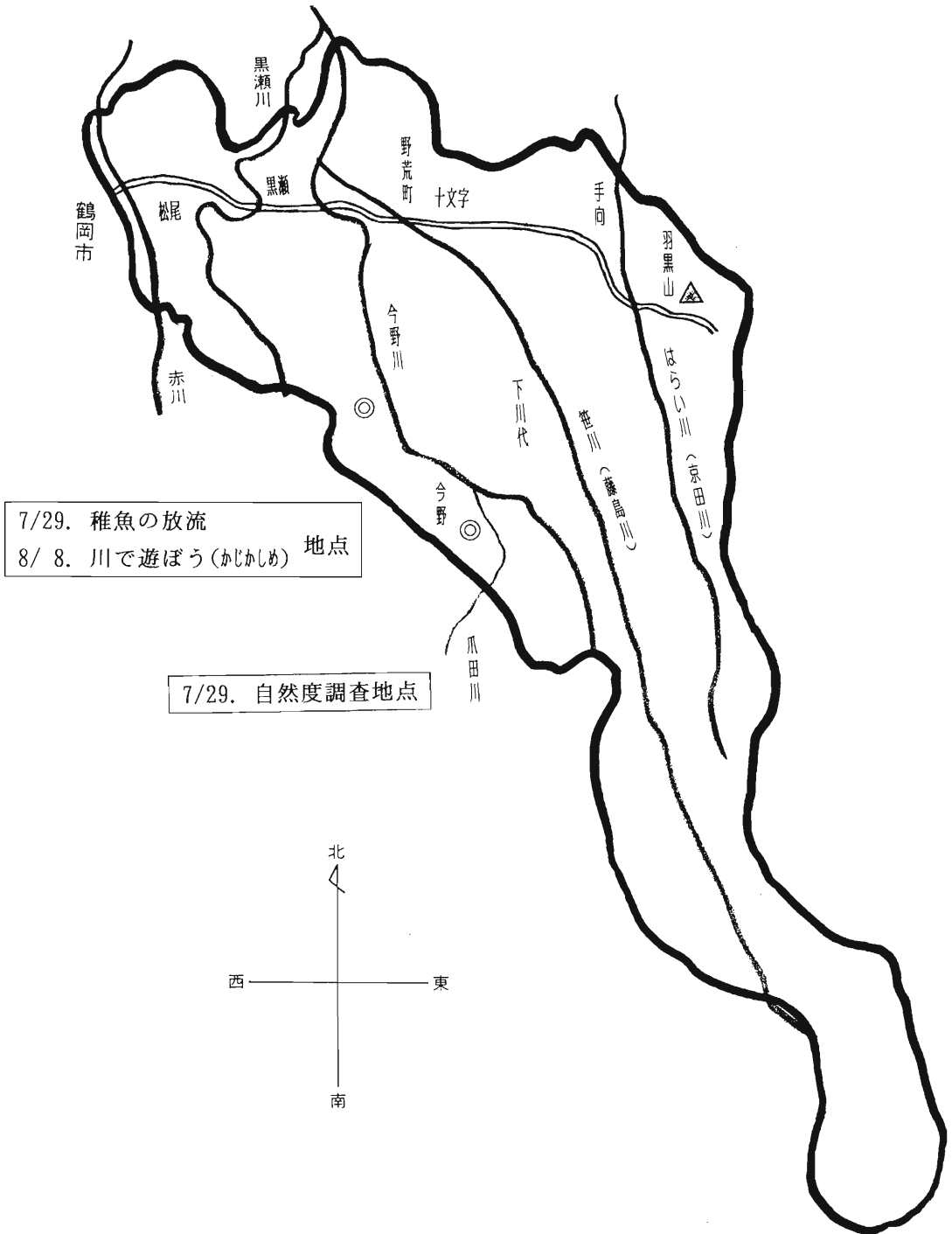
庄内平野は、自然の豊かな地域であるが、近年、自然と人間との距離がさらに離れつつある。特に川と人との距離はいつのまにか、大変離れてしまった。本会は、この距離をいかに縮めていくかをテーマに活動してきた。今回は、当会の機動力の限界から、協力が得られた羽黒町のみでの実施となったが、今後は、庄内平野全体の「水」環境について考えていく必要があるだろうし、他の同じテーマをもつ団体と連携を取りながら、活動していかなければならない。

また、川との関係回復だけではなく、将来は、川等の水環境の復元についても取り組み、積極的な活動を展開していきたいと考えている。

最後に、多額の御援助をいただきました、公益信託タカラハーモニストファンに深くお礼を申し上げます。



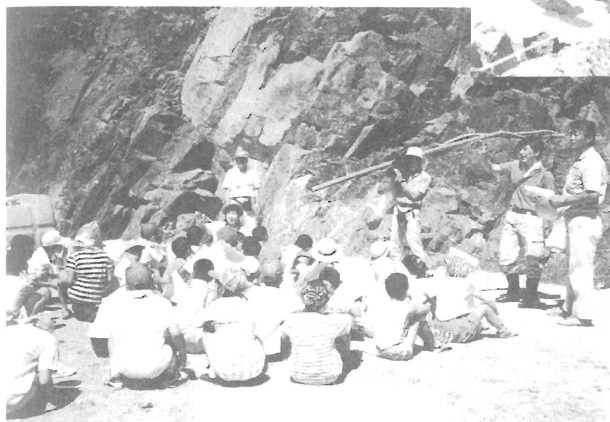
羽黒町を流れる川



「自然体験95川で遊ぼう」参加者名簿

No	学校・学年	部落名	氏名	性別	保護者
1	一小4年	亀井町	黒羽根 純	男	修
2	"	八日町	早坂 瑞記	"	薫
3	"	桜小路	三田村 瑠衣	女	睦
4	二小1年	中川代	斎藤 美咲	"	力
5	2年	西荒川	斎藤 和希	男	優二
6	"	仙道	山口 聖史	"	浩司
7	"	"	原田 美紀	女	正美
8	4年	中川代	斎藤 卓	男	力
9	"	西荒川	斎藤 秀和	"	優二
10	"	増川新田	斎藤 弘樹	"	節雄
11	"	山荒川	丸山 周平	"	一樹
12	"	玉川	斎藤 梢	女	義昭
13	"	小増川	佐藤 明奈	"	亮
14	"	玉川	渡部 彩	"	文昭
15	5年	仙道	原田 亜紀	"	正美
16	"	"	山口 萌	"	浩司
17	"	下川代	斎藤 美咲	"	一義
18	"	"	原田 麻衣子	"	清子
19	"	"	佐藤 陽太	男	政雄
20	"	山荒川	岡部 隆義	"	利男
21	三小4年	楯東	佐藤 健博	"	明
22	"	"	佐藤 康博	"	"
23	5年	猪俣新田	大久保 友博	"	勇一
24	"	富沢	丸山 亮	"	敏昭
25	6年	"	大谷 光法	"	武志
26	こだま幼稚園	上野新田	鈴木 祐太	"	文一
27	四小2年	今野	今井 巧也	"	正義
28	"	上野新田	百瀬 昭宏	"	清昭
29	3年	今野	今井 浩平	"	久秀
30	4年	上野新田	鈴木 厚志	"	文一
31	"	今野	遠藤 直樹	"	一郎
32	5年	上野新田	佐藤 祐一	"	寛
33	"	向山	佐藤 翼	"	喜代司
34	"	今野	今井 咲苗	女	忠次
35	6年	上野新田	鈴木 文昭	男	文一
36	"	"	百瀬 康昭	男	清昭
37	"	向山	佐藤 純一	"	喜代司
40	"	東山	小林 真宏	"	孝
41	"	三軒屋	佐藤 千佳	女	幸子

砂防ダム工事現場 を見学



自然観察

＝ 爪田川にて ＝



石をひろって見ると
池をのぞいて見ると
いたいたいような虫が

稚魚の放流

= 今野川にて =



キラキラ輝く、川の流れ

大きくなって
帰ってこいよ！！

▲京田川の生き物・植物調べ



▲宮野浦小学校科学クラブ